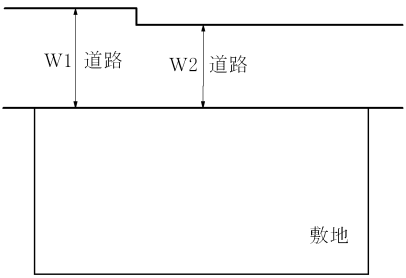
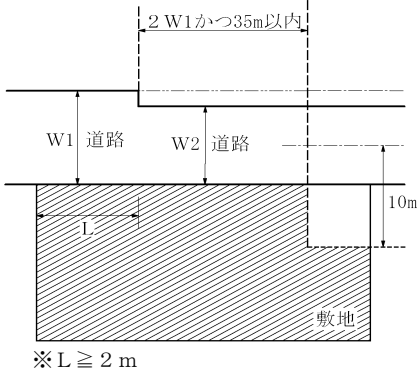
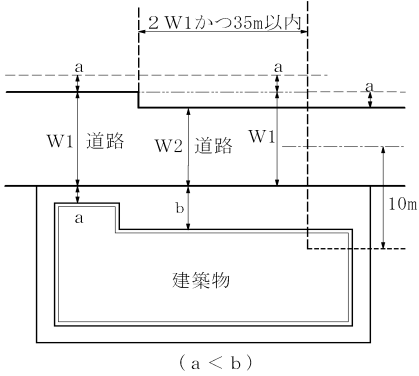
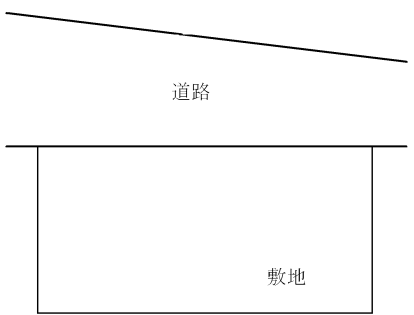
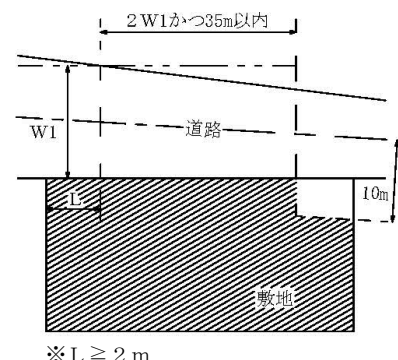
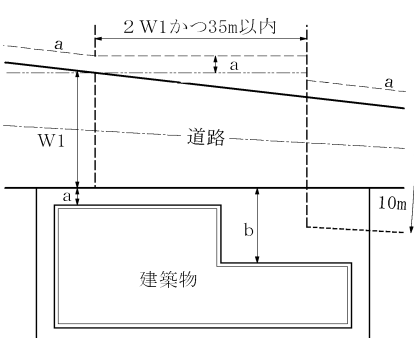


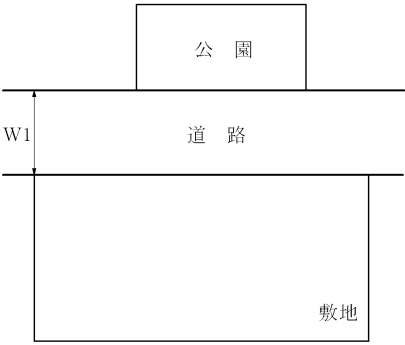
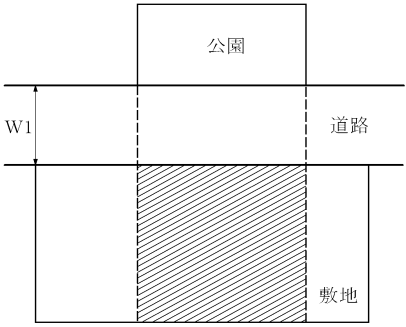

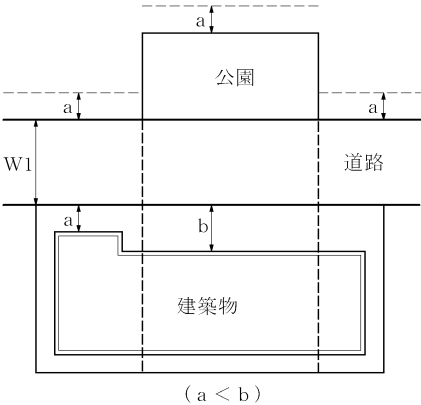
(1) 道路が一でその幅員が異なる場合 (ケース 1)

<p>事例</p>		<p>ア 前面道路の幅員の算定と回り込みの適用について イ 前面道路の境界線から後退した建築物に対する緩和の最小距離について</p>
<p>取扱い</p>	 <p>* <math>L \geq 2\text{ m}</math></p>	<p>ア <math>W1 &gt; W2</math> の場合で、<math>L \geq 2\text{ m}</math> ならば、敷地は幅員 <math>W1</math> 及び幅員 <math>W2</math> の道路に接しているものとみなし、回り込みを適用するものとする。</p>
<p>後退距離の取扱い</p>	 <p>( <math>a &lt; b</math> )</p>	<p>イ 一の道路なので、最小距離は <math>a</math> となり、<math>a</math> を一律に適用するものとする。</p>

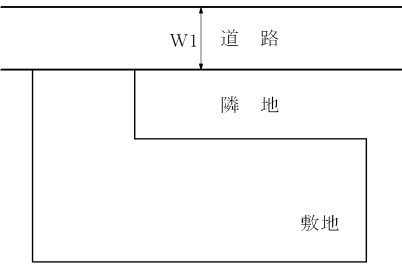
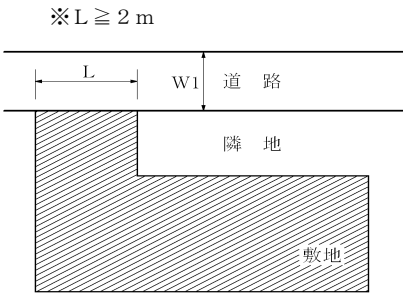
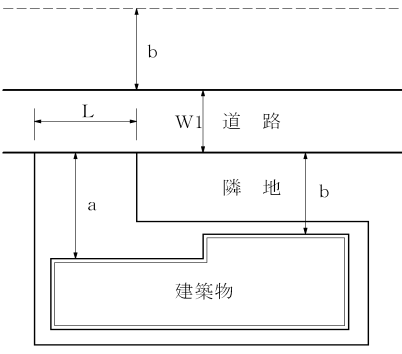
(2) 道路が一でその幅員が異なる場合 (ケース 2)

<p>事例</p>		<p>ア 前面道路の幅員の算定について          イ 前面道路の回り込みの適用について          ウ 前面道路の境界線から後退した建築物に対する緩和の最小距離について</p>
<p>取扱い</p>	 <p>※<math>L \geq 2m</math></p>	<p>ア及びイ <math>L \geq 2m</math>の場合、敷地は幅員<math>W1</math>の道路に接しているものとみなし、前号と同様に回り込みを認める。(幅員<math>W1</math>、<math>W2</math>、<math>W3</math>…と複数の道路があるものとしての回り込みは認めないものとする。)</p>
<p>後退距離の取扱い</p>		<p>ウ 一の道路なので、最小距離は<math>a</math>を一律に適用し、前面道路の反対側の境界線は、その境界線に垂直に<math>a</math>の距離だけ外側にあるものとする。</p>

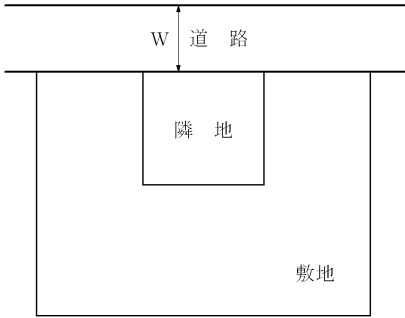
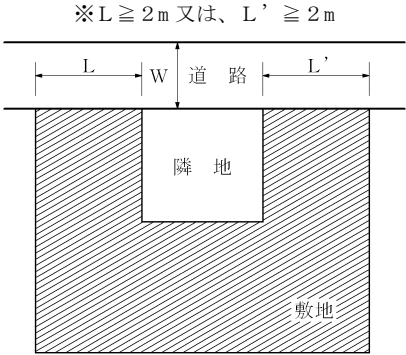
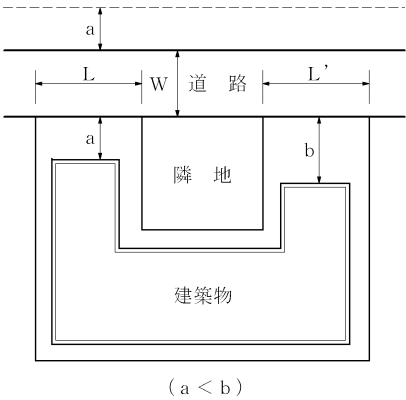
(3) 道路の反対側に公園がある場合

<p>事例</p>		<p>ア 公園による令第 134 条の適用及びその適用範囲について</p> <p>イ 前面道路の境界線から後退した建築物に対する緩和の最小距離について</p>
<p>取扱い</p>		<p>ア  が、公園緩和を受ける。(前面道路は一本なので、令第 132 条の規定は適用しないものとする。)</p>
<p>後退距離の取扱い</p>	 <p>(<math>a &lt; b</math>)</p>	<p>イ 最小距離は <math>a</math> となり、<math>a</math> を一律に適用するものとする。</p>

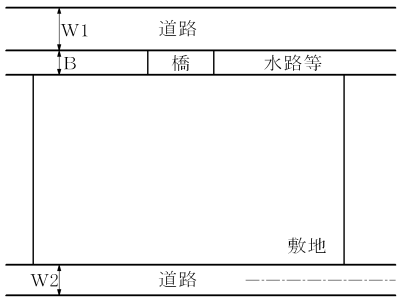
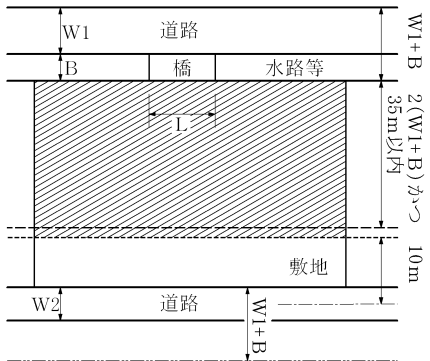
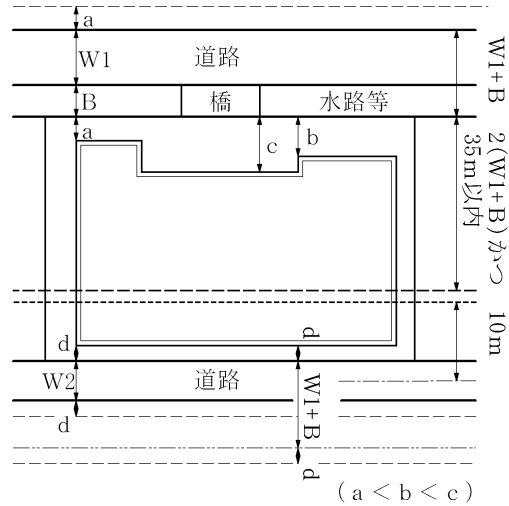
(4) 敷地が道路に路地状部分で接している場合

<p>事例</p>		<p>ア 一の道路に対して敷地が隣地（宅地）を含む場合の道路斜線制限の適用について</p> <p>イ 前面道路の境界線から後退した建築物に対する緩和の最小距離について</p>
<p>取扱い</p>		<p>ア 斜線部分が、道路斜線制限を受ける範囲である。 (<math>L \geq 2\text{ m}</math>)</p> <p>敷地全体に道路斜線制限を適用するものとする。</p>
<p>後退距離の取扱い</p>		<p>イ 最小距離はbとなり、bを一律に適用するものとする。</p>

(5) 一の道路に対して敷地が隣地を含む場合

<p>事例</p>		<p>ア 一の道路に対して敷地が隣地（宅地）を含む場合の道路斜線制限の適用について</p> <p>イ 前面道路の境界線から後退した建築物に対する緩和の最小距離について</p>
<p>取扱い</p>		<p>ア 敷地全体に道路Wの斜線制限を適用するものとする。</p> <p>(<math>L \geq 2\text{m}</math> 又は、<math>L' \geq 2\text{m}</math> の場合)</p>
<p>後退距離の取扱い</p>		<p>イ 最小距離はaとなり、aを一律に適用するものとする。</p>

(6) 水路等を隔てて道路がある場合

<p>事例</p>		<p>ア 幅員W1の道路による道路斜線制限の適用について</p> <p>イ 道路斜線制限を受ける場合の幅員について</p> <p>ウ 令第132条の適用における「<math>2(W1+B)</math>かつ35m以内」の起点について</p> <p>エ 前面道路の境界線から後退した建築物に対する緩和の最小距離について</p>
<p>取扱い</p>		<p>ア 原則として幅員2m以上の橋を架けた場合は道路斜線制限を適用するものとする。</p> <p>イ 幅員は<math>W1+B</math>とするものとする。</p> <p>ウ 敷地と水路等との境界で接しているものとみなし、起点はその敷地境界線とするものとする。</p>
<p>後退距離の取扱い</p>		<p>エ 幅員W1の道路については敷地と水路等との境界に道路境界線があるものとみなし、最小距離はaとなりaを、また、幅員W2の道路については、最小距離はdとなりdを適用する。</p> <p>※ 道路の反対側の敷地の取扱い</p> 